

石巻校区にある2つの神社とその祭りを題材として、石巻校区の歴史や文化財を知る授業

1 日時 平成20年12月11日(木) 第2時限

2 単元 「石巻の歴史と文化財」

3 単元目標

- ・ 石巻校区にある2つの神社とその祭りの学習を通して、石巻の歴史や文化財に関心を持つことができる。
(関心・意欲・態度)
- ・ 石巻校区にある神社を守り、また祭りを続けてきた人々の願いについて考えることができる。
(思考・判断)
- ・ 石巻校区の文化財や歴史について、見学したり調査したりして具体的に調べ、
分かったことや考えたことを分かりやすくまとめ、伝えることができる。(技能・表現)
- ・ 石巻校区の歴史や文化財について知ることができる。(知識・理解)

4 指導にあたって

本学級の児童たちは、全体的に明るく元気がよく、興味を持ったことには積極的に取り組むことができる。4月から取り組んだ社会科の「ごみはどこへ」「水はどこから」の学習にも関心を強く持ち、ごみ収集に携わる方の話も興味を持って聞くことができた。また、「わくわく体験学習」で行った資源化センターやプラスチックリサイクルセンターでは、進んで施設の方に質問したりする姿も見られた。しかし、その一方で、授業では限られた児童が積極的に発言することも少なくない。

「石巻の歴史と文化財」は、「(豊橋の)お祭りと文化財」という大単元中の学習の一環として設定した。石巻山には、千年以上も前に創立されたといわれ東三河の大社として崇敬される石巻神社の上下宮や、668年創立といわれる東頭神社、また650年ほど前の南北朝時代にあったといわれる石巻山城など、歴史的な文化財が豊富である。また、竜神様やダイダラボチなどの伝説も多く残っており、歴史の宝庫である。しかし、事前の調査では、児童たちは石巻の神様のことや、石巻山城のことはほとんど知らない。それは、石巻小に通う児童の多くが金田住宅に住んでおり、外国籍の子も多いことが、大きな理由の1つだろう。しかし、本校の伝統である「野外劇」は校区の歴史や伝説に基づいて作られており、その中で扱われている竜神様やダイダラボチなどに対しては、児童たちの関心は高い。

「石巻の歴史と文化財」の学習では、はじめに、本年度の野外劇である「笛吹きジンゴ」の学習から入る。この野外劇は650年もの前の話であるが、村人たちが石巻に住む神様を大切にしているようすがうかがわれる。創作劇ではあるが、劇に一生懸命取り組んできた児童たちは、その当時の村人が神様を大切に作る気持ちに触れることができたと思う。そこから、石巻山に古くからある石巻神社と東頭神社に目を向けさせていく。どちらの神社も、1200年以上も前に開かれた神社である。児童たちは、石巻の人々がジンゴのいた時代よりもはるか昔から神社を大切にし、お祭りをしてきたことに驚きを感じるとともに、なぜ、そんなに長い間、神社やお祭りを大切にしてきたのか、疑問を持つに違いない。

2つの神社に関しては、石巻校区について書かれた書物やインターネットで調べることができる。しかし、それだけでは、神社やお祭りを大切にしてきた石巻の人々の気持ちは理解しにくい。そこで、石巻に住み、それらに詳しいお年寄りの話を聞いたり、実際に神社を訪れることで、神社やお祭りを大切に作る人々の気持ちに触れることができると考える。また、今年の祭りのお囃子で太鼓をたたいたT男やY子もいるので、そうした子たちから、どんなことをしているかや、どんな気持ちでお祭りに臨んでいるかを聞くことで、これからお祭りを残し伝えていく意義などを考えることができると思う。

本学級には、K男やR男など、話を聞くことが得意でない子が少なくないが、そうした児童でも、「笛吹きジンゴ」から学習に入り、そこから神社やお祭りへ学習を広げていけば、おのずと興味を持って取り組めるに違いない。そして、それをきっかけとして、石巻のその他の歴史や文化財、さらに視野を広げて豊橋の歴史や文化財などにも興味・関心を広げてほしいと願っている。

5 授業計画（22時間完了）

「笛吹きジンゴ」の時代の石巻について調べよう（8時間）

昔の石巻の人達は神様を大切にしていたんだね

石巻で本当に大きな戦があったんだ

野外劇は史実と違うところがあるね

石巻には大きな神社が2つあるね。

石巻山に「いなさる神様」とはどんな神様だろう（2時間）

石巻神社と東頭神社には、それぞれ神様が大切に祭られているね

650年前には三ツ口池はなかったから竜神様じゃないね

2つの神社のお祭りを調べてみたいね。

石巻神社と鬼祭りについてお話を聞こう（1時間）

神郷に住むお年寄りのお話で、石巻神社の歴史や鬼祭りことが、よくわかったよ。

東頭神社とそのお祭りについてお話を聞こう（2時間）

東頭神社は、昔から多くの神様が祭られていたんだね。60年前まで芝居が行われていたとは知らなかったよ。

石巻神社と東頭神社の由来や祭りについてまとめ、発表しよう（4時間）

どちらの神社も、1200年以上という長い年月の間、石巻の人々に守られ、祭りも今に引き継がれているんだ。

神社の祭りには、石巻の人々のどんな思いがこめられているのだろう（2時間：本時2/2）

- ・児童の発表の後、ゲストティーチャーの方に、祭りへの思いなどを語っていただく。

石巻や豊橋市にある他の文化財について知ろう（3時間）

- ・石巻にある古墳や寺、また、豊橋市に古くからあるものを調べさせ、まとめる。

<教師支援>

- ・野外劇「笛吹きジンゴ」の台本を使って、「このセリフを言うとき、どんな気持ちで言ったの？」など、発言の少ない児童にも質問をし、発言しやすい雰囲気をつくる。

- ・R男の「あのなぎの木には、神様がいなさる」というセリフを取り上げ、どんな神様だと思っていたのか、R男にその時の思いをたずねる。

- ・東頭神社のお囃子に参加したT男やY子に、祭りについて話をさせ、祭りに参加する人の気持ちを他の児童にも理解させやすくする。

- ・話で分かりにくいところがあれば、教師が質問をして、児童の理解を助ける。

- ・舞台のからくりなどを見ながら、児童の理解を助けるアドバイスをする。
- ・手筒花火などを実際に持たせていただき、祭りの一端に触れさせる。

- ・発表を前提に、絵や感想を入れてまとめるようにアドバイスする。
- ・発表に向けて役割分担をさせ、どの児童も発表に関われるようにする。

- ・発言が苦手なK男やA男には、祭りに参加したときの気持ちなどを問い、発言しやすくする。

- ・前面黒板の上にハンドサインが示してあるので、使える子には使わせることで、発言への意欲を高めさせる。

- ・「とよはし」等を参考にしながら、児童の知っている文化財などをあげさせ、調べ学習につなげる。

- お囃子に参加していたT男やY子に、どんな気持ちで参加したかたずね、発表しやすい雰囲気作りをする。
- 発言が苦手なK男やA男には、「お祭りに参加した時の気持ち」などをたずねる。
- 意見を板書する際、「〇〇くんの意見は、『神様へのお願い』ということだね」というように、大きく3つにまとめ、児童が理解しやすいようにする。
- ★祭りに込められた願いを、自分なりに考えることができたか。(ワークシート、発言)

3 0 ○ゲストティーチャーにお話をしていただく。

お祭りに詳しい方のお話を聞こう

3 5 ○ふり返しをする。

この授業の感想をワークシートに書こう



4 2 ●たくさんの子に発言の機会を与えるために、まだ発言をしていない子に感想の発表をうながす。

石巻のお祭りには、たくさんの願いがこめられているんだね。
だから、ずっと昔から石巻の人々は、祭りを続けているんだ。

4 5

(4) 評価

- ・自分の考えを、進んで発表することができたか。(発言)
- ・祭りには多くの願いが込められていることに気づくことができたか。(発表・ワークシート・つぶやき)